

事務事業名		河川維持管理事業		所属部	建設部	所属課	建設工務課				
総合計画体系	政策名	(Ⅱ)安全・安心で快適なまち《定住環境》		所属G	公共土木G	課長名	渡部 克彦				
	施策名	(10)自然と地域環境の保全		担当者名	野津 睦	電話番号	0854-40-1063				
	目的:対象	市民	意図	自然環境、景観を守る意識を高め、地球環境に配慮した生活をおくるとともに創造する。							
	基本事業名	(032)自然環境と景観の創造		予算科目	会計	款	大事業	大事業名			
目的:対象	市民	意図	自然環境と景観を守り創造する。				中事業	中事業名			
					0	1	4	0	0	2	河川施設管理事業
					1	5	1	0	0	9	河川維持管理事業

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (29年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
市河川の維持管理(護岸補修や堆積土の除去等を実施する。)

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	29年度実績(29年度に行った主な活動)	30年度計画(30年度に計画する主な活動)			
		・市管理河川内の補修 ・市河川の堆積土の除去	・市管理河川内の補修 ・市河川の堆積土の除去			
	② 活動指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	ア 市管理河川数	m ²			477	477
	イ					
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	市管理河川及び地域住民	ア 実施河川数	箇所			13	10
		イ					
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)	
河川維持管理により公共水域を保全する	ア 自然環境や景観の保全のために取り組んでいる市民の割合	%			71.1	56.0	
	イ 自然環境が守られていると感じる市民の割合	%			72.5	75.0	
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (29年度決算)	② コストの推移	単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(計画)
【内訳】 ・修繕費 2,645千円(市内河川の補修及び土砂撤去等) ・工事請負費 6,554千円(市内河川の補修及び土砂撤去等)	事業費内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
		地方債	千円			
		その他	千円			
		一般財源	千円			9,199
	事業費計(A)	千円			9,199	5,000
人件費	正規職員従事人数	人			2	
	延べ業務時間	時間			160	
	人件費計(B)	千円			652	
トータルコスト(A)+(B)	千円			9,851		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
・市河川の維持管理を適正に行うため、河川維持要望の中で緊急性の高い箇所から実施しているが、多数の要望があるため十分な対応ができるか懸念される。	・平成27年度までは、各総合センター事業管理課ごとに事業実施に取り組んできたが、平成28年度からは、建設部建設工務課に集約し、事業を実施している。	・市河川内の補修や土砂撤去については、多数の要望があるため、継続的な対応が求められている。

事務事業名	河川維持管理事業	所属部	建設部	所属課	建設工務課
-------	----------	-----	-----	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？	見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合⇒	
	③ 対象・意図の妥当性	対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
B 有効性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はあるか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 ・緊急性の高い箇所から実施し、将来的な被害時の経費が削減できているため、これ以上の成果向上の余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	
	<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由 ・本事業を休止もしくは中止した場合、河川維持管理は進まなくなり、河川の適正な保全ができなくなることから、ひいては、自然環境や景観の悪化、災害につながる事が懸念される。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある *ある場合⇒	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	(具体的な手段や類似事業名) 被害が大きい場合は、災害復旧事業による対応ができる場合がある。
	<input type="checkbox"/> 他に手段がない		理由
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 ・現地の状況から、最小限の経費でできる工法で対応しているため、削減余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 ・平成28年度から、組織機構の見直しにより、各総合センター事業管理課から、業務の窓口が本庁に一本化されたことにより、これ以上の人件費の削減は見込めない。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 ・市河川の現地状況を精査した上で、緊急性の高い箇所から実施しているため、公平、公正である。
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	・市河川の維持管理要望は多数あるが、緊急性の高い箇所から順次実施し河川の保全を図っている。また、将来的な被害の拡大をこの事業により未然に防止できるため、成果は最大である。
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下は改革・改善とはならない。</p>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				
<p>・今後も継続的な事業実施を行い、市河川の保全を図ることが必要である。</p>																								